

五町田のまつり

3, 4年生 総合学習

を調べました

祭りの由来

永享2年（1439年）下総国関宿の城主下河辺氏が舟子の地に移って地頭になったとき水上の守護神として、於下村船津（今宿）に牛頭祇園祠を建立して、すさの鳴命をお祀りした。後天元年（1573年）に現在地に移し、慶長年間（1596年）に五町田村の鎮守となった。

祭りの願い

- ・五町田の人たちが、健康で楽しく仕事や生活ができるように願う。
- ・霞ヶ浦で漁をする人たちが、安全で水の事故にあわないように願う。
- ・魚がたくさんとれるように願う。

今年の祭りの様子



祭りの日時

五町田にある八坂神社で7月の最終土曜日、日曜日に行われる祭り。

育成会や婦人会、子ども会の人たちの御輿や山車が出て、たくさんの人たちが集まってお祭りを楽しむ。

祭りの内容

一日目 よい祇園

午後4時ごろ、山車が五町田八坂神社を出発し、子ども会や青年会のおはやしで町内をねり歩く。

町内をねり歩いたあと、八坂神社へみこし（神様）をお迎えに行く。みこしは夕日が沈む頃おはやし船に乗り、沖を7まわり半して、豊漁と水上安全をお願いする。その後みこしはお仮屋に入る。

二日目 ほん祇園

夜10時すぎに山車がみこしを五町田八坂神社までお送りしてお祭りは終わる。

今の様子



お父さんのころ



おじいちゃんのころ

